ユインチホテル南城

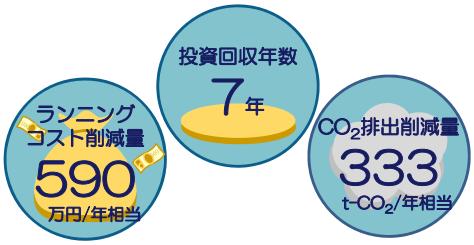
53℃

コージェネレーション

概要

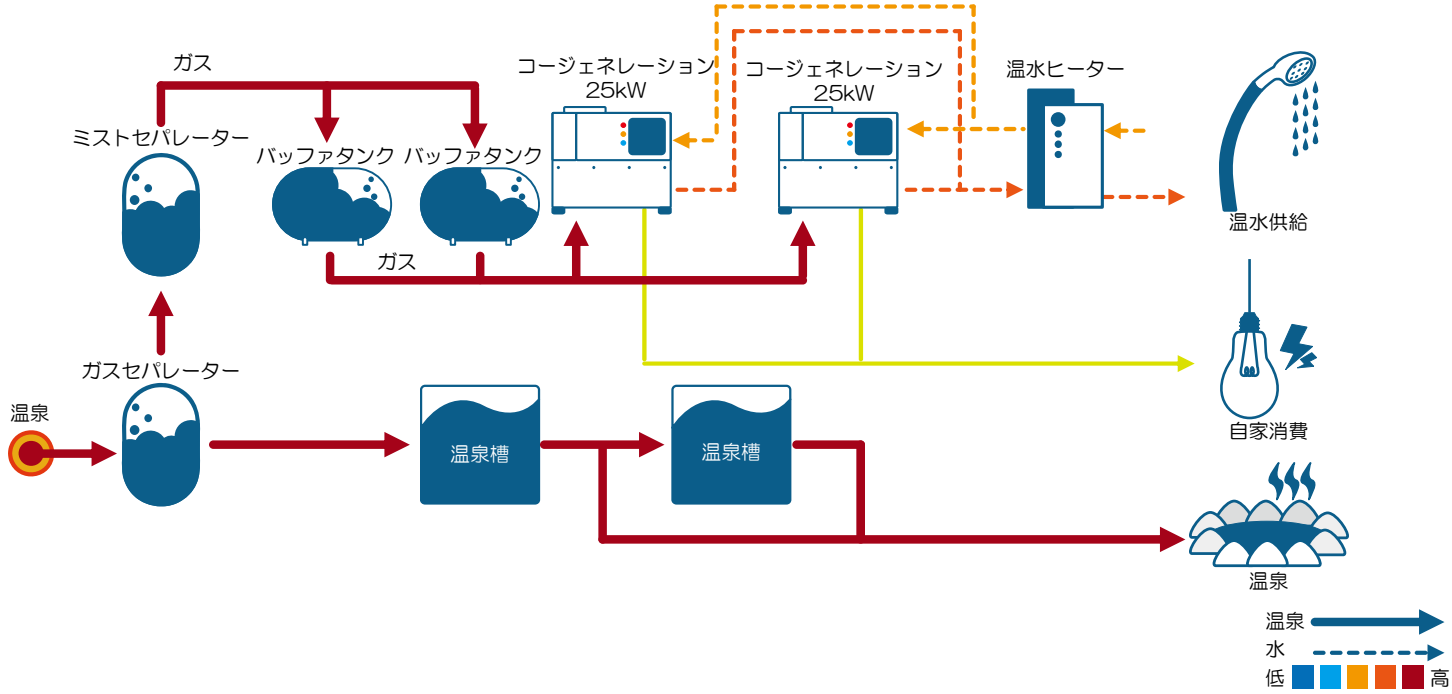
温泉に付随して発生する可燃性天然ガスを利用した、ガスコージェネレーションシステムを導入し、電力と熱を生成している。生成された電力はホテル内照明や動力に利用し、生成された熱は給湯ボイラーの熱源水として利用している。
また、重油ボイラーへの給水（水道水）を天然ガス鉱山の坑内水（温泉）（約50℃）で熱交換し、プレヒーティングしている。この熱交換により作った温水は、浴室シャワーなどに利用している。

所在地	沖縄県南城市
泉質	塩化物泉
温泉温度	53℃
利用温度	-℃（可燃性天然ガス）
利用温泉	新規温泉
総事業費	8,300万円（一部補助金あり）

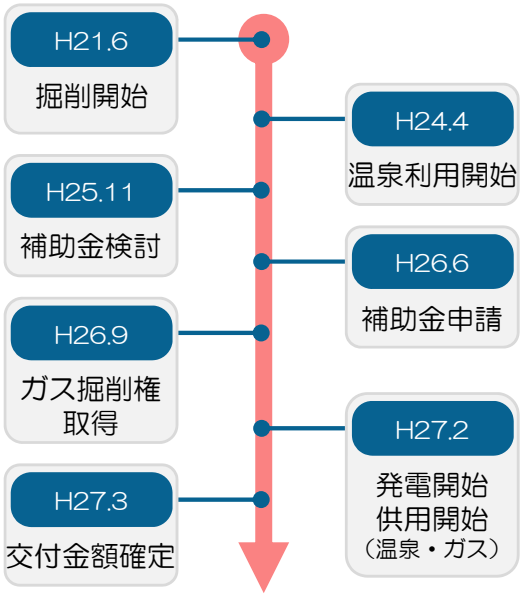
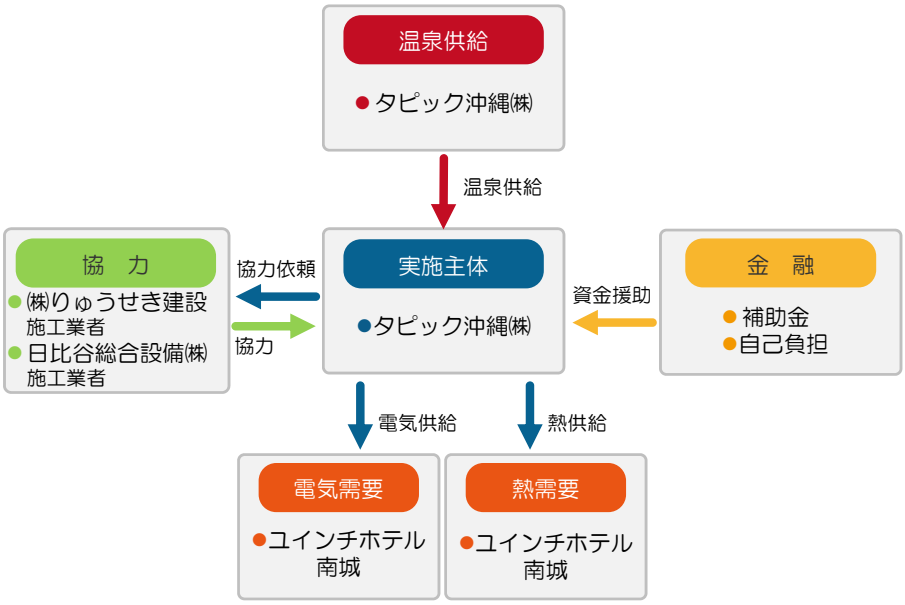


※ランニングコスト削減効果、CO_2排出量削減効果、投資回収年数は、発電量相当を購入した場合と比較して算出した推定値

主な温泉熱利用方法のシステム図



導入の流れ



実施体制